

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] TAVI患者の自宅退院に向けたハートチームの活動報告

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 大石佐奈美（看護部）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：2024年5月2日～2024年11月30日

目的：TAVIの適応症例は、80歳以上もしくはクリニカルフレイルスケール4以上の患者である。当院のクリニカルパスでは7日間の入院期間を設定しているが、術前よりフレイルの高い患者は、ADLの回復が遅延し入院期間の延長と自宅退院とならない症例がある。このような患者は、患者自身の身体面、認知面の状況のみならず、家族の病状理解と家族構成、家族の就労の有無、介護力が自宅退院に向けての重要なポイントとなる。術前後のフレイル・MMSE、転帰を振り返り、ハートチームの活動により自宅退院困難症例が自宅退院可能となった介入方法について調査する。

方法：診療録を用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2018年9月～2024年4月にTAVIを施行された方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、フレイルスケールの結果、MMSE（認知機能の評価）、入院期間、転帰等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

大石佐奈美、看護部

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971